

「政策の目標」	組織運営の方針5：政策評価の着実な実施等による効果的・効率的な組織の運営 (評価書 506 頁)													
評価意見														
評価基準ごとの審査	評価の判断理由等													
<p>1 「政策の目標」の達成度 B 達成に向けて進展があった。</p> <table border="1" data-bbox="97 479 719 896"> <thead> <tr> <th>業績指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経理担当者会議の開催状況</td> <td>5回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>契約案件のうち、競争性のない随意契約で契約した案件の割合の推移(件数ベース)</td> <td>22%程度</td> <td>N. A.</td> </tr> <tr> <td>契約案件のうち、競争性のない随意契約で契約した案件の割合の推移(金額ベース)</td> <td>45%程度</td> <td>N. A.</td> </tr> </tbody> </table>	業績指標	目標値	実績値	経理担当者会議の開催状況	5回	6回	契約案件のうち、競争性のない随意契約で契約した案件の割合の推移(件数ベース)	22%程度	N. A.	契約案件のうち、競争性のない随意契約で契約した案件の割合の推移(金額ベース)	45%程度	N. A.	<p>(基本的状況) 財務省は、政策評価に積極的に取り組み、その着実な実施により、①国民に対する説明責任を果たす、②効率的で質が高い成果重視の行政を目指す、③財政当局として各府省庁の政策評価の結果を適切に活用する等を目指している。また、厳しい財政事情の下、優先順位の高い施策に行政資源を重点配分し、国民本位の質の高い行政サービスの実現を目指している。</p> <p>(20年度の運営概況) 実施計画及び評価書の作成、組織・定員管理、経費の効率的執行、行政の簡素・効率化などの着実な実施により効果的・効率的な組織の運営を行った。</p> <p>(達成度に係る評価の理由等) 21年度実施計画の業績指標の設定数の増加や経費の有効活用など一定の進展が認められたものの、国民に分かりやすい評価の実施や更なる経費の効率的・効果的執行の徹底に向けて、改善の余地があることから、「B 達成に向けて進展があった。」と評価した。</p> <p>(今後の課題) 今後とも、国民に分かりやすい実施計画や評価書の作成に努力する必要がある。また、政策評価と予算の連携の更なる強化等により、より効果的・効率的な事務運営に反映するための方策についての検討が必要である。更に、随意契約の見直し等を通じて経費の効果的・効率的執行に努める必要がある。</p>	
業績指標	目標値	実績値												
経理担当者会議の開催状況	5回	6回												
契約案件のうち、競争性のない随意契約で契約した案件の割合の推移(件数ベース)	22%程度	N. A.												
契約案件のうち、競争性のない随意契約で契約した案件の割合の推移(金額ベース)	45%程度	N. A.												
<p>2 事務運営のプロセスの適切性、有効性、効率性 適切であった。 有効であった。 効率的であった。</p>	<p>(事務運営プロセスに係る評価の理由等) (適切性) 政策評価について、総合評価書を適時に公表できるように基本計画の一部改訂を行った。 (有効性) 経理担当者会議を通じて経費削減等に関する周知徹底等を図り、より効果的な執行に努めた。 (効率性) 政策評価の作業に際して、「政策評価担当者会議」を開催した結果、調整がスムーズに運び、効率的に作業を進めることができた。</p>													
<p>3 結果の分析的的確性 おおむね的確に行われている。</p>	<p>(結果の分析的的確性に係る評価の理由等) 評価に当たっては、業績指標や参考指標を使用しつつ、各施策の詳細かつ具体的な実施状況の記述に努めている。</p>													
<p>4 当該政策や、政策評価システムの運用の改善への提言 政策について提言がなされている。 政策評価について提言がなされている。</p>	<p>(今後の提言等) (政策の改善) 評価の充実や国民に分かりやすい実施計画、評価書の作成等に努める。 (政策評価の改善) 21年度実施計画において、業績指標の新設や重点的に進める施策の設定を行っている。</p>													
<p>講評 (財務省の政策評価の在り方に関する懇談会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の「政策の目標」の記述は読み易くなっているが、全体としての政策の方向性を示すことができれば、より分かり易いのではないかと。 ○ 評価書や要旨の中には、抽象的で分りにくい記述がある。もっと国民が理解できるよう分かり易い記述をしていただきたい。 ○ 政策評価書について一般的に改善がみられる。 ○ 財務省の活動を、網羅的に分かりやすくまとめていることを評価する。 ○ 平成20年度に重点的に取り組む分野を明記(要旨P45)されている点は良いが、出来れば、評価結果の一覧表(要旨P3)においても、重点分野が分かるようにしていただきたい。 ○ 達成度について、「S 達成した。」「D 達成にむけて進展がなかった。」というのがなく、A、B、Cに分布している。もう少し、めりはりをつけてもよいのではないかと。 ○ 評価書として高い水準にあると考える。ただし、指標についての継続的な見直しは必要であり、例えば、ベンチマークとして、他国の同様の指標を参考指標として掲げられることを検討されることが適切と考える。 ○ 達成度の評価については、特に違和感はなかった。 													